



「陰徳」の人に 「陽報」の花は咲く

古来、「花の王」「富貴花」と呼ばれ、その大輪の美しさをたたえられる牡丹。新年を祝う花としても愛好されてきた。

春の花だが、手間を掛けて温度調整することで、寒風の季節に咲く「冬牡丹」も知られる。

写真は2009年4月、池田名誉会長が都内で撮った1枚である。

「世界広布新時代」が開幕した今年、各地に「人材の花園」が広がった。「勝利の大輪」が薫った。その陰には、法のため、友のため、繁栄の社会のために、見返

りも求めず、来る日も来る日も、黙々と励む「陰徳の人」がいた。

その人々にこそ、絢爛たる感謝の花束をささげたい——これが名誉会長の心であり、創価の精神。笑顔で互いの健闘をたたえ、明年の「躍進の年」へ出発しよう。



「本当にありがとう」—— 教学部中級試験で、運営役員として受験者を支える友に、真心からの感謝を述べる池田名誉会長（2002年9月、創価女子短期大学で）

人生の勝負は、
目先の華やかさでは
決まらない。
地道に誠実に
正義を貫いた年輪は、
時とともに
自身と眷属を繁栄させゆく
絶対勝利の善根となる。

希望は
努力と忍耐に咲く花である。
希望は
陰徳を積みゆく人の
誇り高き陽報なのである。
誰が見ていようが、いまいが、

人のため、法のため、
社会のために
尊き汗を流しながら
歩き、働き、戦う。
正義を叫びに叫び、
一人また一人と
平和の連帯を広げていく。
その庶民に勝る
「偉人」はいない。

大切なのは
人間として
光っているかどうか。
力を出せるかどうかである。
その力の根源は
自覚である。
わが使命を
誇らかに確信しきることである。
ひたむきに使命に生きる人は、
大いなる知恵がわき
勇気がわき
境涯が開け
前途が開ける。

私は 今日も走る！
私自身の
勝利の道を走る！
私の行動には孤独がない。
少しの畏怖もない。
私の精神には
大いなる光がある。
私の生命の奥には
一日が百年にも思える歴史が
燦然と輝く。